

第24回 地域の声委員会の概要について

平成24年5月24日に開催した地域の声委員会では、平成23年度下半期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに、今後の発電所の運営に反映できるよう検討しました。

東北地方太平洋沖地震以降、皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、安全を最優先に地震や津波への対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

東京電力

柏崎刈羽原子力発電所

地域の皆さまから、1,583件の“声”をいただきました

(平成23年度下半期)

発電所に直接電話をいただいた声、当社社員による地域訪問活動の際にいただいた声、PR施設をご見学時にいただいた声、発電所広報誌「ニュースアトム」に添付のハガキによる声など、多くの厳しいご意見・ご要望をいただきました。

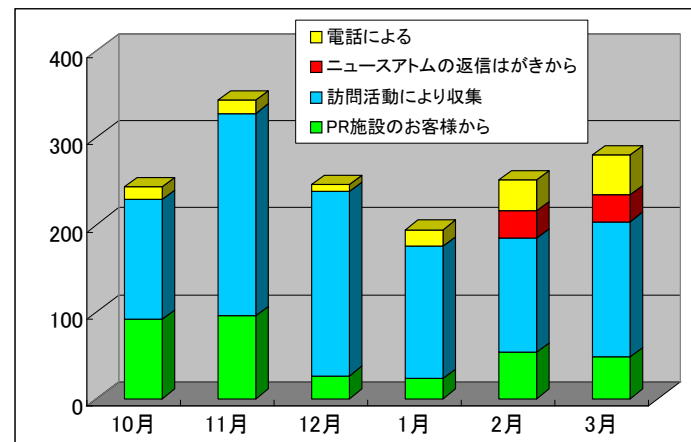
【いただいた主な声】

- ・ ストレステストの誤記について、東電の体質の問題ではないか。
- ・ 中越沖地震や福島の津波など、なぜ想定外が繰り返されるのか。
- ・ 長期停止中プラント計器点検漏れについて、停止中であり安全に影響ないとのことだがマイナス情報であることには変わりなし。
- ・ 今回の教訓を、人類のこれからの宝とするか、しないかが、今生きている我々の使命と思う。
- ・ ストレステストをやった結果で再稼働することは、絶対許されない。
- ・ 柏崎刈羽で同じような事故が起きた場合、地元への補償はどのようになるのか。
- ・ 電気はなくてはいけない物なので、十分な安全対策を取って地元の方を泣かせることがないように運転すべき。
- ・ 福島事故が起きてから、津波対策を今になってしているというのは遅すぎる。
- ・ 私から言えるのは、爆発は起こさないようにしてほしい。この1点だけです。
- ・ 説明を受けても本当に安全かは分からない。

【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、下記の点に取り組んでまいります。

- 真摯な「広聴」を実施してまいります。
- 引き続き、丁寧な訪問活動を実施してまいります。
- サービスホールにおける説明会を継続して開催してまいります。
- 当社の取り組みを理解していただくための活動に取り組めます。
- 地域の声を収集し、地域の方々の不安解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、引き続き所長以下発電所内と本店で共有し、今後の事故収束に向けた取り組みや広報活動に活かしてまいります。



今後も皆さまからいただいた声をしっかりと業務や発電所運営に反映いたしてまいります。